



# 人集め奮闘記 ③



## ★ここまでのお話★

1回目の反省をもとにして、様々な面を改善して講座開催に臨みましたが、さわやかさんの思惑は外れて5人しか集まらず、講座は中止せざるを得ない状況になってしまいました。さんざんな結果を前に、「チラシには、参加者にとってのメリットを明確に書く」というチラシ作りの基本を改めて胸に刻んださわやかさんでした。

この奮闘記①～③は、平成25年度に千葉県が「親の学びプログラム」活用事業として、さわやかちは県民プラザにおいて試験的に行った講座を基にストーリー化したものです。「さわやかさん」については架空の設定ですが、集まった人数の数値等については実際のものでした。

## 1 教育CSRに取り組む スポーツクラブとのコラボ

「ヒント教えます」というタイトルを掲げておきながら「すごろくトーク」をするだけでは、参加者の満足は得られませんでした。かといって、正直に「考えましょう」とタイトルで、企画の目的をそのまま掲げたのでは、まず人が集まってくれないのです。



しかも、前回のように集まらなければ、いくらよい企画を考えていても開催することもできないのです。

「やっぱり有名な先生を呼ばなければ人は集まらないのでは…」とか、「学校の先生に頼んで、半強制的に参加してもらわないと…」と弱気になる気持ちを抑えて、参加者にとってのメリットが伝わるようなチラシを作って、多くの参加者を集めたいと考えました。

そこでさわやかさんが目つけたのが、「**ちば家庭・学校・地域応援企業等登録制度**」です。



教育CSR（教育分野での社会貢献活動）に取り組んでいる企業と連携して企画を考えれば、打開策が見つかるかもしれない。



## 2 目的と手段を整理して 企画を立案する

実は、第一回の食育講座で連携した大塚製薬も、教育CSRに取り組む企業として、千葉県に登録されている会社でした。

食育講座の開催にあたって、大塚製薬からは資料提供をはじめとして、様々な面で協力を得られたので、今回もこうした企業と連携して講座を企画できればと考えました。

折しも、千葉県では平成24年3月に、**第11次「千葉県体育・スポーツ推進計画」**が策定され、「**幼児期における体力づくりの推進**」が新たな施策として盛り込まれたばかりでしたので、今回は、体育分野で教育CSRに取り組む企業ユアスポーツを選びました。聞くと、ユアスポーツでは、ヨガレッスンが人気であることも分かりました。

これまで失敗してきた経験と、他で成功している例とを比べて、さわやかさんは、**講座の主催者側と参加者側の目的と手段の関係は**、下表のような関係になるのがよいのではないかと考えるようになっていました。

### 【ヨガ講座を例に】

	目的	手段
主催者	参加者同士が自ら学び合う	ココロとカラダを軽くするヨガ
参加者	ココロとカラダを軽くするヨガ	参加者同士が自ら学び合う

# 3

## 家庭教育支援という雰囲気を一変させたチラシ

主催者と参加者の目的と手段の関係は、表に示したように、表裏一体の関係になっていると考えるようになったさわやかさんは、今回は、「人を集めるためのチラシ作りであること」を肝に銘じて、次のような改善をしました。

### 【人を集めるための改善点】

- 対象者を子育てママに限定
- 対象者にとってのメリットが伝わる言葉を目立つように！
- ・ヨガ ・託児つき ・いやし
- ・ココロとカラダを軽くする



**子育てママを応援!** **託児つき**

**ココロとカラダを軽くする**

**いやしのヨガ ストレッチ**

スポーツクラブの人気インストラクターが、ココロとカラダをほぐす方法をお教えます!

**日時** 2013年10月23日(水)10:00~11:20

**講師** ヨガのインストラクター 渡邊 可苗 先生

**会場** さわやかちば県民プラザ(3階) 中研修室2

**定員** 0~5歳児を持つママ(申込先着順) 30人

**参加費** 無料 ※体を動かしやすい服装でいらしてください。 ※ヨガマットは、ご用意しております。

**申込締切** 定員になり次第、締め切ります

**託児** 子育てママが安心してお子様の遊ばせをしますので、無料です。 託児を希望される方は、10月16日(水)までにお申し込みください。

主催：千葉県教育委員会 協力：ユアスポーツ

これまでと違って、さわやかさんの周りにはいる人も、できたチラシを見て、「行ってみたい」と言ってくれるチラシになりました。これは、今までにさわやかさんが感じたことのないワクワク感を感じていました。

# 4

## たった2日で定員に！ 30名の定員になんと82名の応募！

案の定、チラシを配布してなんと3日目には、定員に達するという喜ばしい結果になりました。

日	チラシ配布
9月24日	6名
26日	30名
27日	11名
28日	6名
29日	3名
30日	7名
10月1日	4名
計	82名応募

最終的には、82名もの方々からの応募がありました。同じA市内で配ったチラシとは思えないほどの反響ぶりでした。

# 5

## やはり、大満足の参加者しかし、これでよかったのか

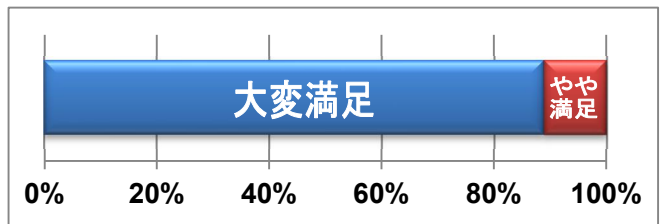


これは、実際のヨガ講座での様子です。ヨガというと、個人での動きが多いのですが、さわやかさん

は、事前のインストラクターとの打合せの中で、「保護者同士の関わりや、家庭でお子さんのできる動きも教えてほしい」と頼んでいました。

そのため、途中、写真のように参加した保護者同士が手のマッサージの方法を試してみるなどの場も提供することができました。

下のグラフは、満足度調査の結果です。明らかに満足している様子がうかがわれます。



しかし、そのほとんどが「ヨガの内容」「自分の時間が持てたこと」に満足と回答しており、「家庭でも生かしてみたい」「DVDを見て、一人でやるより楽しい」といった回答をした人は少数でした。

確かに人は集まったし、満足はしてくれたけれど、主催者としての目的から振り返ると、十分ではなかったのではないかと、またさわやかさんは、考え込んでしまいました。

# 6

## 連続講座の可能性を探る!

さわやかさんは、これまでの3回にわたる講座の失敗を振り返ってみて、すべて一回限りの講座であったことに、今更ながら気づきました。「ヨガ講座で満足した人たちで、次回の講座を考える話し合いをさせてみたら…」

【さわやかさんのあくなき挑戦は続く…】